200/300シリーズマネージドスイッチでのグリー ンイーサネットの設定

目的

グリーンイーサネットは、スイッチのエネルギー消費を削減する機能です。これにより、スイッチは環境に優しく、スイッチを実行するためのコストが削減されます。

この記事では、200/300シリーズマネージドスイッチにグリーンイーサネットを設定する方法について説明します。

適用可能なデバイス

・ SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

· v1.2.7.76

グローバルグリーンイーサネットの有効化

このセクションでは、200/300シリーズマネージドスイッチのすべてのインターフェイスでグリーンイーサネットを有効にする方法について説明します。

ステップ 1: Web設定ユーティリティにログインし、Port Management > Green Ethernet > Propertiesの順に選択します。Propertiesページが開きます。

Properties	
	rameters configured on this page to become effective, the corresponding port based parameters on Port Settings page.
Energy Detect Mode:	
Short Reach:	▼ Enable
Power Savings:	83 %
Cumulative Energy Saved:	0 Watt Hour
Port LEDs:	▼ Enable
Apply Cancel	

ステップ 2: Energy Detect Modeフィールドで、Enableチェックボックスにチェックマークを入れて、非アクティブリンクでエネルギー検出モードを有効にします。非アクティブリンクの場合、このモードではこれらのリンクが非アクティブモードに変更されますが、ポートの管理ステータスはアップのままになります。 これにより、スイッチの電力消費が削減されます。

ステップ 3: Short Reachフィールドで、Enableチェックボックスにチェックマークを付けてShort Reachを有効にします。この機能により、短尺ケーブルの電力を節約できます。ケーブル長の分析後、電力使用量が調整されます。

注:Power Savingsフィールドには、Green Ethernetが有効な状態で節約された電力が表示されます。

注:Cumulative Energy Savedフィールドには、スイッチが最後にリブートされてから節約されたエネルギーの量が表示されます。

ステップ4:(オプション)Port LEDsフィールドで、消費電力を削減するには、Enableチェックボックスのチェックマークを外して、インターフェイスのLEDアクティビティを無効にします。

ステップ 5: Applyをクリックして、設定を保存します。

注:この設定後、ネットワークは一時的に切断されます。

緑のイーサネットポートの設定

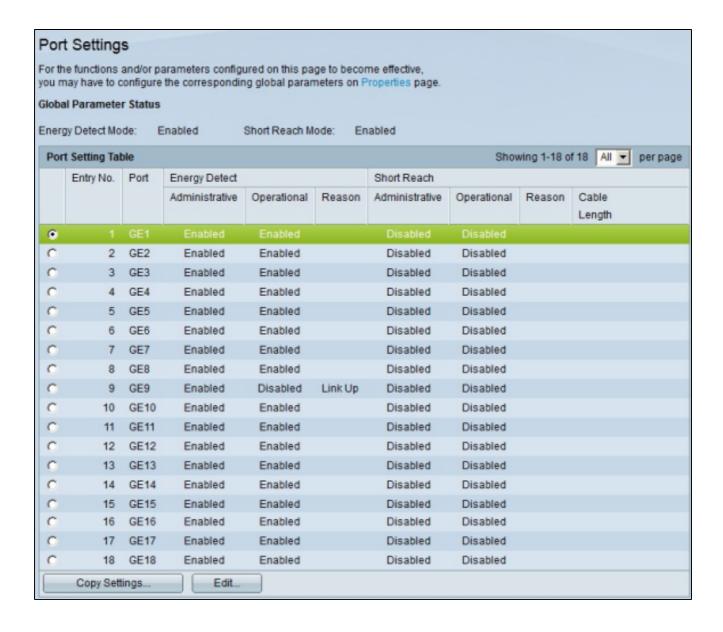
このセクションでは、特定のインターフェイスでグリーンイーサネットを有効または無効に する方法について説明します。

注:グリーンイーサネットポートの設定を有効にするには、その前にグローバルグリーンイーサネットの設定を正しく完了する必要があります。

単一インターフェイスの設定

このサブセクションでは、1つのインターフェイスでグリーンイーサネットを有効または無効にする方法について説明します。

ステップ 1: Web設定ユーティリティにログインし、Port Management > Green Ethernet > Port Settingsの順に選択します。Port Settingsページが開きます。



ステップ2:設定するインターフェイスのオプションボタンをクリックします。

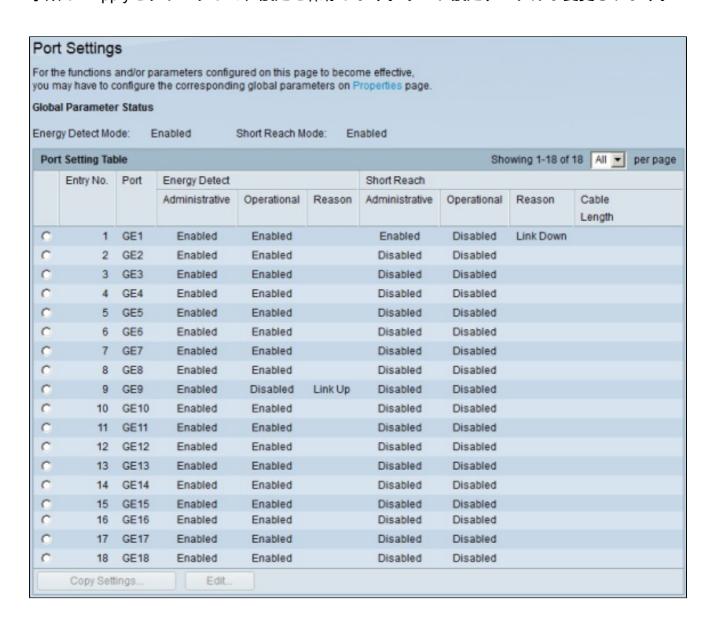
ステップ 3: [Edit] をクリックします。Edit Port Settingウィンドウが表示されます。

Interface:	Port GE1	
Energy Detec	Enable	
Short Reach:	▼ Enable	
Short Reach:	Close	

ステップ4:(オプション)Energy Detectフィールドで、Enableチェックボックスにチェックマークを入れて、特定のポートでこの機能を有効にします。この機能は、消費電力を削減し、ポートの管理ステータスをアップに保つために、非アクティブリンクを非アクティブモードに移行します。

ステップ5:(オプション)Short Reachフィールドで、Enableチェックボックスにチェックマークを入れて、特定のポートでこの機能を有効にします。この機能は、ケーブルの長さを分析し、適切な手法をリンクに適用して電力消費を削減します。

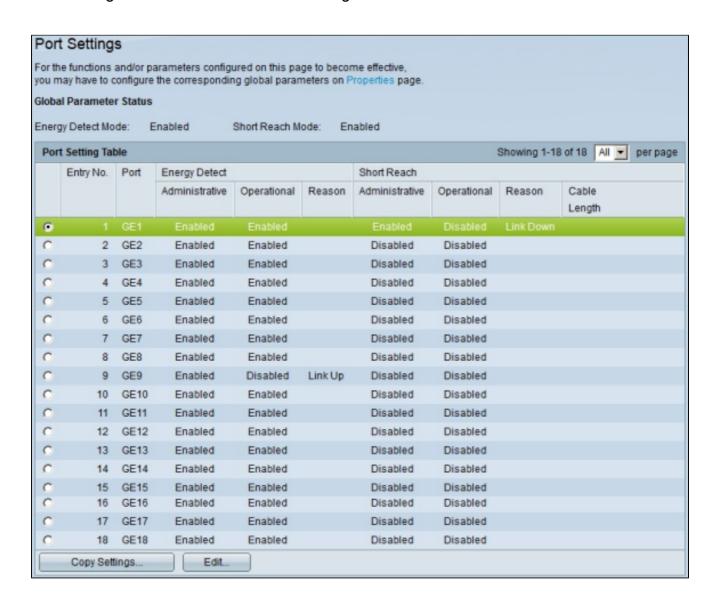
手順 6: Applyをクリックして、設定を保存します。ポート設定テーブルが変更されます。



複数のインターフェイスへのインターフェイス設定の適用

このサブセクションでは、単一のインターフェイス設定を複数のインターフェイスに適用する方法について説明します。

ステップ 1: Web設定ユーティリティにログインし、Port Management > Green Ethernet > Port Settingsの順に選択します。Port Settingsページが開きます。



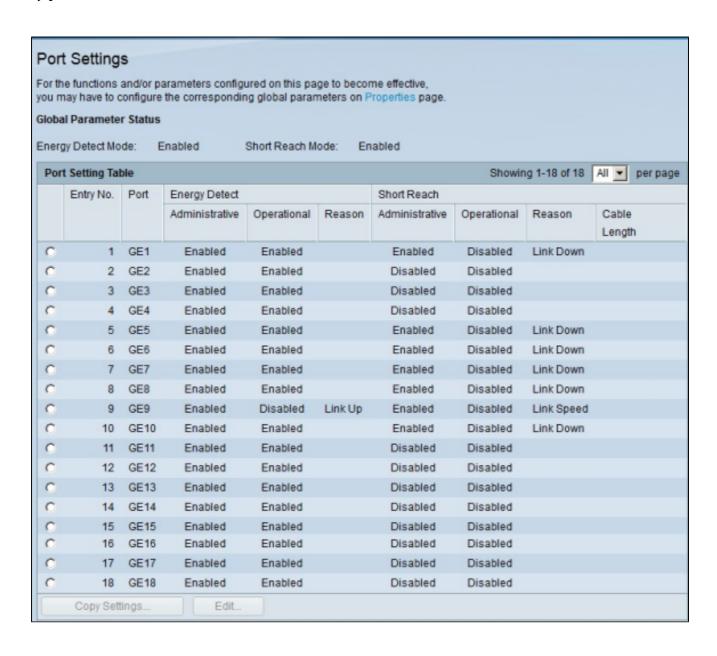
ステップ 2:複数のインターフェイスに設定を適用するインターフェイスのオプションボタンをクリックします。

ステップ 3: Copy Settingsをクリックします。Copy Settingsウィンドウが表示されます。

Copy configuration from entry 1 (GE1)		
to: 5-10	(Example: 1,3,5-10 or: GE1,GE3-GE5)	
Apply Close		

ステップ 4:表示されたフィールドに、前にクリックしたインターフェイスの設定を適用するインターフェイスを入力します。各インターフェイスは、番号またはインターフェイス名(例:1、2、3、GE1、GE2、GE8)で入力するか、またはインターフェイスの範囲を番号または名前(例:7-10、GE7-GE10)で入力できます。

ステップ 5:Applyをクリックして、設定を保存します。ポート設定表に変更内容を示します。



翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。